

● 11月28日、期限前議会選挙の実施

A. 主な動き

1. 内政

▼ 期限前議会選挙に向けた動き

- ・20日、民主党は、同党のスポンサーであるブラホドニウク氏を候補者リスト第2位に掲載。同日をもって候補者リストの変更受付期間は終了。
- ・20日、ツルカン「統一モルドバ」代表は、選挙運動における移動の際に交通事故に遭遇し病院に緊急搬送。
- ・24日、フィラト首相は、OSCE/ODIHR及びCIS各選挙監視ミッション代表と会談、政府は28日の選挙が法規範に則って実施されることを保証する旨発言。
- ・25日、ブラホドニウク民主党議員候補は、選挙後の首相就任の意志はないと発言、現在の政権運営を批判し選挙後に行政システムの根本的な改善に取り組む旨発言。
- ・25日、ヴォローニン前大統領は、ルプ民主党党首が大統領就任に固執しないのであれば共産党は民主党との連立形成に望む準備がある、議会における大統領選出のためには憲法改正が必要であり、もし同改正に失敗した場合は全政党が支持する議会外の人物の擁立が必要と発言。
- ・26日、ギンブ大統領代行は、AEIが61議席以上獲得することを確信すると発言。フィラト首相は、AEIの唯一の敵は共産党であり自由民主党と共産党の連立は絶対に無いと発言。同日をもって選挙運動は終了。
- ・26日、駐モルドバ米国大使館及びEU代表部は、各関係者に選挙中及び選挙後の平和及び秩序を守るよう呼びかける旨の共同声明を発表。
- ▼ 前情報安全保障庁長官の誘拐
- ・23日、共産党は、22日にレシェニコフ前情報安全保障庁長官(共産党所属)が一時的に誘拐されヴォローニン前大統領にとって不利となる情報提供を目的とした監禁暴行を受けたと発表。同日、検事総局は、同事件の捜査開始を発表。
- ・24日、内務省は、レシェニコフ前情報安全保障庁長官は専門医師による診察及び事件詳細の供述を拒否しており、同事件は自作自演であった可能性が高いと発表。
- ・25日、ヴォローニン前大統領は、共産党が選挙運動のPRのために同事件を計画・実行したとの可能性を否定。
- ▼ 28日、期限前議会選挙の実施
- ・自由民主党は、選挙前日(27日)にTVを利用して選挙関連の番組を放映し選挙法に違反したとし、共産党及び民主党を中央選挙管理委員会に提訴。
- ・共産党は、野党所属の選挙管理委員及び選挙監視員が与

党による多数の違反を確認した旨発表。

・中央選挙管理委員会は、投票用紙が不足した国外投票所における代替投票用紙での投票、及び4カ所の国外投票所の投票時間延長(2時間)を許可。

▼ 中央選挙管理委員会による発表

- ・投票率: 59.10% (有権者275万2,373名のうち162万6,649名が投票)
- ・暫定得票率(29日11:00時点、開票率95.4%)
- 共産党: 40.5%、自由民主党: 28.7%、民主党: 12.9%、自由党: 9.3%、「我々のモルドバ」同盟: 2.1%、欧州アクション運動: 1.2% 等 (同暫定得票率に基づくと、各政党の獲得議席数は計101議席中、共産党44議席、自由民主党31議席、民主党15議席、自由党11議席となる。)

2. 経済

- ・25日、国家統計局は、2010年7-9月期に旅行会社を通じてモルドバを訪れた外国人は観光目的の旅行者が23%減少したため、前年同期比4.7%減の約6,018人と発表。商用の訪問者は36.7%増の2,177人、治療目的は41.6%増の490名、出身国はルーマニア(20%)、露(15.5%)、ウクライナ(7.6%)等。

3. 外政

▼ 24日、サーカシヴィリ・グルジア大統領の来訪

- ・サーカシヴィリ・グルジア大統領は、訪問の目的が個別政党の支持ではなく、モルドバ国民を支持するためと発言。
- ・サーカシヴィリ・グルジア大統領は、ギンブ大統領代行及びフィラト首相と会談、モルドバの欧州統合、グルジアによるモルドバの洪水被害対策支援等につき協議。
- ・ヴォローニン前大統領は、サーカシヴィリ・グルジア大統領との会談を拒否。

▼ その他

- ・24日、フィラト首相とシューベル駐モルドバEU代表は、「東方パートナーシップ」の一環として実施される包括的組織構築に関する枠組み合意に署名。
- ・25日、欧州議会は、モルドバとの協力パートナーシップ協定議定書を承認。
- ・25日、ヴォローニン前大統領はキリル総主教と電話会談、国内の政治情勢、正教会の役割等につき協議。キリル総主教は、モルドバに安定と統一をもたらす政治勢力の勝利に期待を表明。

4. 沿ドニエストル

- ・22日、ファン＝ロンパイ欧州理事会議長は、EUとウクライナがモルドバの領土一体性回復に関心があることを確認したと発言。
- ・23日、ヤストレプチャク沿ドニエストル「外相」は、沿ドニエ

ストルがOSCEサミットには参加しないと表明。

- ・26日、露、独及びウクライナは、沿ドニエストル問題解決にかかる三者協議をモスクワにおいて実施、「5+2」者協議再開等につき協議

B . その他の動き

11 / 25 (木)

バ国防省において締結

- ・2011年モルドバ・リトアニア二国間軍事協力計画がモルド

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)